早期８両化
通学定期代引き下げ

さらなる TX 充実を



首都圏新都市鉄道へ要請書を手渡す日本共産党千県地方議員団

８月２１日、日本共産党千葉県地方議員団は、つくばエクスプレス（ＴＸ）のさらなる充実を求め、ＴＸを運営する首都圏新都市鉄道株式会社へ要請書を提出しました。

「通学定期代の割引拡大含め子育て支援策を検討」約束

「高すぎるＴＸ通学定期代が高い。全額、親の負担というのは申し訳ないので、バイトして穴埋めしている」、「高校に一番近い駅はＴＸ。でも通学定期が高いため、遠回りでも、東武鉄道の駅から３０分かけ、自転車通学をしている」…高校生や保護者の声を日本共産党は伝えました。また沿線で育った子どもたちが、ＴＸ沿線で子育てしたいと思えるよう自治体と一緒に鉄道事業者も取り組みを強めるよう働きかけました。



鉄道事業者は「通学定期代の割引拡大を含め、多方面から子育て支援策を検討する」と約束しました。

８両化!!早期実現へ
「快速停車駅等のみ８両化」技術的検討を

鉄道事業者は「『２０３０年代前半の８両化』は堅持する」と約束。しかし、事業着手から５年、８両化未対応ホームが１０駅以上も残され、工期スケジュールも、進捗率も不明です。

日本共産党は全駅８両化に加え、「快速駅や通勤快速駅を優先的に８両化対応ホームとし、『快速・通期快速は８両化」案も早期実現の取り組みとして検討して欲しい」と要望。鉄道事業者も技術的には否定せず、検討すると答えました。

■快速停車駅：①秋葉原、②新御徒町、③浅草、④南千住、⑤北千住、⑥八潮、⑦南流山、⑧流山おおたの森、⑨守谷、⑩つくば

■通期快速停車駅：①秋葉原、②新御徒町、③浅草、④南千住、⑤北千住、⑥六町、⑦八潮、⑧南流山、⑨流山おおたの森、⑩柏の葉キャンパス、⑪守谷、⑫研究学園、⑬つくば

（下線は８両化対応ホーム（工事中含む））



日本共産党　流山市議会議員

おだぎりたかし

請願採択

加齢性難聴者への補聴器購入助成

「年だから仕方がない…」とあきらめていた方やご家族に朗報です。市民団体が提出した「補聴器購入助成を求める請願」が市議会全会一致で採択されました。6月26日、議会最終日に行った日本共産党市議団のいぬいえり議員の請願賛成討論は以下の通りです。

本請願は、流山市に対し、高齢者の補聴器購入費助成を求めるものです。

来年2025年には、高齢者の5人に1人が認知症になるといわれています。流山市では、令和5年度で、介護認定を受けている高齢者の約半分、4300人に認知機能の低下があると診断され、これは高齢者全体の1割に相当し、診断を受けていない人もいることを考慮すればさらに多くの認知症高齢者がいると考えられます。加えて本市の高齢者実態調査では、高齢者の4人に1人が聞こえに困りごとを抱え、そのうち約6割が特に対応していないとの結果が出ています。

高齢者の難聴は、厚労省も「生活障害になるのみならず、認知症発症の危険因子の一つと報告されており、難聴高齢者の早期発見や適切な介入に向けた仕組みの構築が求められる」としています。市は聞こえに困りごとを抱える高齢者に医療機関の受診の啓蒙をすすめることが市の役割としていますが、医療機関にかかれば補聴器の装着をすすめられる場合が多く想定されます。しかし高額のため多くの高齢者が購入を躊躇しています。

日本国内の補聴器購入助成制度実施自治体は2023年6月時点の152自治体から、同年12月で237自治体と、半年の間に1.5倍にも増えています。千葉県内の実施自治体は54市町村中、船橋・鎌ヶ谷・浦安・印西・市川・富里の6市で、助成限度額は2万から3.5万円、予算は150人規模です。例えば1人5万円の助成を100人分としても、本市の予算規模からすれば0.006%にすぎません。

本市議会では、国に対し、これまで2回、補聴器の購入助成制度の創設を求める意見書を可決してきました。令和5年第1回定例会では全会一致で可決しており、助成制度の必要性については、議会では異論がありません。

健康体操で筋肉は鍛えられても、耳は鍛えられません。総合計画に「いきがいをもって健康・長寿に暮らせるまち」をかかげる本市として、ぜひとも高齢者の補聴器購入費助成を実施すべきと考えます。

最後に、市民から寄せられた声をご紹介します。「主人も聞こえづらくなり、はじめは嫌がっていた耳鼻科にも一緒に受診し、補聴器も娘からの援助もあり購入しました。はじめはイヤイヤつけていましたが、家族やご近所さんとも楽しくお話ししている姿を見られてホッとしています。孫との会話も楽しみにし、表情も明るくなって、本当に良かった。公費補助ができ、少しでも補聴器の購入のハードルが下がり、また『聞こえづらさ』は年齢だからしょうがないで放置せず、本人も、家族も、ご近所でも、何かのきっかけになればうれしい」とのことです。こういう声に応えましょう。

流山民報（号外）２４年８月２５日　連絡先：小田桐０９０－８５６７－８８５８